

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

留学ができて幅広い分野を学ぶ事ができて女子リベラルアーツ教育に力を入れているのと知りたくも勉強のモチベーションも高い受験しようと思ったので。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

まずは単語を覚えたりから始めました。受験勉強を始めた頃とはとにかく基礎を固めたり事に集中し、焦らずにいろいろな事を一気に進めないので。少しずつ自分の弱点を見つけてながら勉強してました。

〔夏休み〕

夏休みは家で集中できない時は塾の自習室や図書館に行きました。1学期に学習した内容の復習をしながら長文読解や実際に問題を解くという事をしました。たくさん時間があるので合格のために何が必要かを常に考えました。

〔2学期～入試直前〕

入試問題の傾向を見て、何を勉強したらいいのかを考え、私は特に英単語や英熟語など、入試で絶対にミスしたくない所を学習しました。国語では時代史などを覚えめました。これまで自分がしてきた努力を自信にかえ、毎日前向きな気持ちで頑張りました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

文化祭や体育祭前後はいつも通り勉強するのは難しかったけど、行事の中や少しの空き時間でやるように心がけました。健康面では入試直前期は朝早く起きて勉強する事で朝に問題を解く事に慣れることが出来ました。スマートフォンやテレビは時間を決めて休憩時間に見ていました。模試の成績がなかなか上がらなかつた時は判定がどうであれ結果は最後まで分からないと何度も言い聞かせました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験期間中は時間が長く感じ、進路が早く決まった友達を見ると羨ましくなったり、模試を受けては不安な気持ちになりました。その中で頑張りを続ける経験は無駄にはならないと思います。頑張ってください!!